



令和4年7月21日
生活環境整備課

イベントごみの減量・資源化に関する実施要領



1 目的

不特定多数の参加者を対象として開催するイベントの主催者等は、「ごみは出さない」、「出たごみは自己処理する。」を目標として、今まで以上にごみの減量や資源化に取り組み、ごみ発生抑制の観点からエコ・イベントの実施を推進する。

2 対象とするイベント

不特定多数の参加者を対象として開催する会議、大会、祭りなどのうち、市及び市が主体となった実行委員会が市内で主催または共催するものであって、かつ、その実施に際して市が管理できるもの（以下「イベント等」という。）とします。

3 実施方法

イベント等の実施にあたっては、次に掲げる事項について、個別に取り組みを検討し、できるだけ多くの項目が実施できるよう努めるものとします。

(1) ごみの減量・資源化について

発生する廃棄物を最小限にするとともに、発生した廃棄物はできるだけ資源化します。やむを得ず発生したごみは、適正に処分します。

※ ごみ対策の基本は、3つのRを常に意識することです。

R e d u c e	(リデュース)	…	ごみを減らす
R e u s e	(リユース)	…	ものを繰り返し使う
R e c y c l e	(リサイクル)	…	資源として再利用する

①必須項目

- パンフレットや資料は、あらかじめ必要部数を考慮して、最小限の部数を準備し、余ったものは持ち帰り、再使用するか適切にリサイクルします。
- 出展者等は、会場のルールに従ってごみを分別します。
※ 分別方法：①可燃ごみ ②不燃ごみ ③ビン ④缶
- 主催者は、ごみ集積場所をわかりやすく表示し、分別収集ボックス等を設置します。
- 主催者や出展関係者は、排出するごみの回収・資源化に配慮します。

②努力項目

- 使い捨て容器の使用を改め、デポジット制度によるリユースカップの採用やリサイクル可能な容器の採用などに取り組みます。
- ごみの分別方法の説明等を行うスタッフを配置し、来場者等に対して適切なごみの分別指導を行います。
- 簡易包装に心がけるとともに、マイバッグの利用を呼びかけます。
- 飲食関係出展者は、ごみ箱を用意し回収したごみは持ち帰る等します。

(2) 省資源・省エネルギーについて

イベントは華やかで楽しいものですが、資源やエネルギーを大量に消費します。必要以上に資源やエネルギーを使わないよう、できる範囲で節約し、ごみのリデュース、資源物のリユース・リサイクルを進めます。

①必須項目

- 印刷物の作成にあたっては、再生紙など環境に配慮した素材を用いるとともに、作成部数の抑制を図ります。
- 資材の購入にあたっては、環境に配慮した製品を優先的に購入します。

(3) 参加者への普及啓発

イベントは多くの人に参加する場であり、ごみ減量・資源化に対する理解や実践活動を促進する大きなチャンスです。来場者に対し、イベント会場での環境の取り組みをアピールし、市内全体における取り組みに結びつけることが大切です。

①必須項目

- 主催者は、ごみ減量・資源化に配慮した内容を会場内で分かりやすく説明したり、展示したりします。
- 参加者によるごみの持ち帰りを呼びかけます。

②努力項目

ごみ減量・資源化に関心のある市民と共同で、来場者に対する学習の機会を設けます。

イベント終了後に、参加者や出展者等と共同で清掃活動を実施します。

(4) 運営体制

主催者は、組織的にごみの減量・資源化、環境への配慮を行うために運営体制を整えます。

①必須項目

ごみ減量・資源化の責任者を選任します。

事務局、ボランティア、出展者等への事前説明時に、ごみ減量・資源化への配慮の内容やその重要性について説明します。

②努力項目

ごみ減量・資源化、環境配慮のための取り組みについて、広くアイデアを募集し、実行できるアイデアはイベントに取り入れます。

イベント開催時または終了後に、イベントでのごみ減量・資源化、環境配慮についてアンケートを実施します。

— 実施する項目 —

< スタッフに伝える約束ごと >

-
-
-

